

氏名	中村裕美	部署	作業療法学科	職名	教授
研究分野	作業療法理論， 地域作業療法学、社参参加と制約、要介護者と家族介護者のQOL				
学位	博士				
学歴	1987年現信州大学医学部保健学科作業療法専攻（旧信州大学短期大学部作業療法学科）卒業　2004年東京都立保健科学大学（現　東京都立大学）博士前期課程保健科学研究科修了（修士第24号（作業療法学））　2009年首都大学東京（現　東京都立大学）人間健康科学研究科人間健康科学専攻作業療法科領域　博士号取得（健博第10号，首都大学東京）				
経歴	2006 年埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科講師　2011年埼玉県立大学大学院博士前期課程リハビリテーション学専修特別研究補助指導教員　2013年埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科准教授、埼玉県立大学大学院博士前期課程リハビリテーション学専修特別研究指導教員　2014年埼玉県立大学大学院博士後期課程指導教員　2015年埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科教授				
所属学会（役職）	QS Intelligence Unit for QS World University of the annual QS Global Academic Survey (Reviewer), British Journal of Occupational Therapy (Editorial board member), The Royal College of Occupational Therapist annual congress and expo (Reviewer), The Evaluation and the Health Professions (Reviewer), Health and Quality of Life Outcomes (Reviewer), BMC Nursing (Reviewer), MDM Policy and Practice (Reviewer), Journal of Child anc Family Studies (Reviewer), BMC Psychology (Reviewr), Work: A Journal of Prevention, Assessment and Rehabilitation (Reviewer), Occupational Therapy International (Reviewer), Frontiers in Rehabilitation Science (Reviewer), Newcastle University (post-doctoral supervirosy role), Yonsei University), Yonsei University (OT BK21 mentoring board), World Federation of Occupational therapy Congress (Reviewer), Japan Journal of Nursing Science (Reviewer),　日本作業療法士協会学術集会(演題査読委員)				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	Development of the Easy-read Adult Social Care related Outcome Toolkit for Japanese with social care service users: Oral presentation	単独	8th Asia Pacific Occupational Therapy congress 2024、Sapporo		○ <u>Nakamura-TH</u>	2024 December
2	A community-based occupational therapy supports sustainable community living and social participation for couples: Scientific Workshop 3	共同	8th Asia Pacific Occupational Therapy congress 2024, Sapporo		○ <u>Nakamura-TH</u> (Leading author), Nakaya N, Bae S, Hong I	2024 December
3	Refinement of the Easy-read version of the Japanese version of the Adult Social Care Outcomes Toolkit: Oral presentation	共同	International Forum on Quality & Safety in Healthcare, London		○ <u>Nakamura-TH</u> , Morikawa M, Moriyama Y, Shiroiwa T	2024April
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	社会的ケアを要する高齢者の在宅生活維持に資するQOL規定因子の実証的解明		研究代表者		2020 April～2024 March (2025 Marchまで延長)

2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（挑戦的研究（萌芽））	自宅で介護保険サービスを利用する認知症者用の社会的ケア関連QoL評価票の創出	研究代表者	2024 June～2027 March
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）	地域包括ケアのアウトカムとしてのケア関連QOLの測定と応用に関する研究	研究分担者	2020 April～2024 March (2025 Marchまで延長)
4	公益財団法人ダイオーズ記念財団 2024年度助成金	就労支援を受ける人々の勤労役割に関する心理社会的要因を測定するアウトカムの妥当性と信頼性の検証	研究代表者	2024 January～2024 December
5	National Research Foundation of Korea (NRF)	Developing and Comparing a Cross-National Disability Measure for Older Adult Populations across Korea, China and Japan	研究分担者	2021 January～2025 December
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	高齢期作業療法学	○	7	指定した教材のうち授業担当者が執筆した章を詳細に説明したほか介護保険制度について詳述した
2	保健医療福祉学際英語（大学院博士前期課程）	○	12	履修者の研究テーマに即して教材を構築し 履修者の質問や要望に沿う形式で実施した
3	リハビリテーション基盤実践学特論（大学院博士前期課程）		5	アップデートされた国際指針（CONSORT, STROBE, COSMIN, PRISMA-MA, PRISMA-Ex）に基づき 研究デザインに注力した授業を展開した
4	I PW論（専門職連携実践論）②（大学院博士前期課程）	○	8	科目責任者として分担者の授業も含めて 授業担当者の直近の刊行論文をマテリアルとして用い クライエントのアウトカムを改善するための手段としての多職種連携のあり方を紹介した
5	I PWシステム開発論（専門職連携実践論）②（大学院博士後期課程）	○	8	科目責任者として分担者の授業も含めて 授業担当者の直近の刊行論文をマテリアルとして用い クライエントのアウトカムを改善するための手段としての多職種連携による論文刊行を説明した
6	リハビリテーション教育学Ⅱ	○	3	日本作業療法士協会および日本理学療法士協会が定める臨床実習の手引きを確認した。またクリニカルリーズニングと客観的臨床能力試験の教育としての用い方について、最新の国際学術雑誌に公刊された案件を用いて説明した
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床作業療法学技能演習	○	30	臨床家を登用した客観的臨床能力試験 (Objective Structured Clinical Examination: OSCE)を運営した 当該科目では作業療法学科として唯一している科目であり教材もオリジナルを構築して毎年精練している
2	高齢期作業療法学演習	○	15	高齢期のクライアントの大半が認知機能障がいを呈している現状に鑑み認知機能障がいをもつ人々への作業療法の時間を倍増させた。国外研究者を韓国ヨンセイ大学および豪州フェデレーション大学から招聘し学部学生に新しい学びの場を提供した。
3	IPW演習		15	他大学の医学部学生も参加したため その学生が疎外感を感じない様ファシリテーションを行った また遠隔対応となったため 学生が時間を有効活用できるように かつ学生が主体的に取り組めるよう支援した

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨地体験実習（高齢期・発達期）	○	2024 April-2025 March	当該の実習では訪問や通所のリハビリテーションを利用するクライアントを担当する臨床実習組織に学生を配属するため 特定のクライアントに連続して関わるできない。そうした制限に鑑み 配属前の学生に紙面情報と映像情報を用いた事例検討会を行うため 少人数のグループ単位で事例を変えて作成し それを用いた事例検討会を実施した。配属後は臨地実習指導者の評価に基づき 必要に応じて複数の教員と協業して面談を実施し 4年次の臨地実習への準備を促した。
2	臨地総合実習（身体機能領域）		2024 April-July	臨地実習組織に配属となった学生について その臨地実習指導者との情報交換を行った
3	臨地総合実習（精神機能領域）		2024 April-July	臨地実習組織に配属となった学生について その臨地実習指導者との情報交換を行った 実習終了後のセミナーでは学生の発表内容やレポートに即して成績評価を担当した
4	臨地体験実習（精神機能領域）		2024 August-September	臨地実習組織に配属となった学生について その臨地実習指導者との情報交換を行った
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	修士論文	2024 April-2025 March	主指導（指導教員）1名	副指導（指導補助教員）名
2	博士論文	2024 April-2025 March	主指導（指導教員）1名	副指導（指導補助教員）名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	博士前期課程特別研究	2024 April-2025 March	主査役割を拝命した2名の博士前期課程の審議をとりまとめ 先行研究を基に学際的に評価しコメントを呈した	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	高校訪問	古河第三高等学校	作業療法の哲学	2025July
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	越谷市介護給付等の支給に関する審査会	委員		2024April-2025March
2	QS Intelligence Unit for QS World University of the annual QS Global Academic Survey	レフェリー		2024April-2025March
3	British Journal of Occupational Therapy	国際学術誌編集委員		2024April-2025March
4	The Royal College of Occupational Therapist annual congress and expo	英国作業療法士協会年次学術集会演題査読委員		2024April-2025March
5	Clarivate Accelerating innovation US News Best Global Universoty Ranking	レフェリー		2024April-2025March
6	Scholarly Research Services Survey	レフェリー		2024April-2025March
7	OTJR: Occupation, Participation and Health	国際学術誌レフェリー		2024April-2025March
8	International Journal of Rheumatic Diseases	国際学術誌レフェリー		2024April-2025March

9	THE's Global Academic Reputation Survey: Times Higher Education World University Rankings	レフェリー	2024April-2025March
10	European Early Childhood Education Research Journal	国際学術誌レフェリー	2024April-2025March
11	日本作業療法士協会学術誌作業療法	査読者	2024April-2025March
12	日本作業療法士協会学術集会	作業療法士協会年次学術集会演題査読委員	2024April-2025March
13	The Evaluation and the Health Professions	国際学術誌レフェリー	2024April-2025March
14	Health and Quality of Life Outcomes	国際学術誌レフェリー	2024April-2025March
15	MDM Policy and Practice	国際学術誌レフェリー	2024April-2025March
16	Journal of Child anc Family Studies	国際学術誌レフェリー	2024April-2025March
17	BMC Psychology	国際学術誌レフェリー	2024April-2025March
18	Work: A Journal of Prevention, Assessment and Rehabilitation	国際学術誌レフェリー	2024April-2025March
19	Occupational Therapy International	国際学術誌レフェリー	2024April-2025March
20	Frontiers in Rehabilitation Science	国際学術誌レフェリー	2024April-2025March
21	Newcastle University	A post-doctoral supervirosy role	2024April-2025March
22	Yonsei University	OT BK21 mentoring board	2024April-2025March
23	World Federation of Occupational Theraposts Congress 2026	国際学術集会演題査読委員	2025March
24	8th Asia Pacific Occupational Therapy congress 2024、Sapporo	A chairperson of an oral presentation session	2024November
25	Journal of Nursing Science	国際学術誌レフェリー	2024April-2025March
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称		年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	期間
1	該当なし		

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	入学試験のために任命された役割の遂行	2024April-2025March
2	全学的委員会及びセンター業務等	院試のために任命された役割の遂行	2024April-2025March
3	国際交流活動	共同研究者であるZurich University Applied Sciences(ZHAW) の看護学科教員の日本開催の国際学会来日に合わせて 全学部学生対象の特別講演を開催した	2024July10th
4	国際交流活動	担当するZurich University Applied Sciences(ZHAW) の担当者との情報交換に努め 現地開催プログラムについて説明会を2回開催した。2月末から2週間の期日で開催された欧州看護コンソーシアムに参加希望の看護学生の安全な渡航のために 現地担当者との綿密な情報交換を図った。	2024April-2025March
5	国際交流活動	渡航グラントに応募があった案件の審査に当たった	2024April-2025March
6	全学的委員会及びセンター業務等	オープンキャンパスのために任命された役割の遂行	2024April-2025March
7	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員会の役割の遂行	2024April-2025March
8	大学広報活動	指名のあった高校に訪問し模擬授業を実施した	2024July18th
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		